

指揮・芸術監督

佐渡 裕

Yutaka Sado,
Conductor & Artistic Director

© 版島隆

佐渡 裕
シヨスタコ

ヴィオラ

ローレンス・パワー

Lawrence Power,
Viola

©Giorgia Bertazzi

リンドベルイ:

ヴィオラ協奏曲 **日本初演**

Magnus Lindberg: Viola Concerto

シヨスタコーヴィチ:

交響曲 第10番 ホ短調 op.93

Dmitry Shostakovich: Symphony No.10 in E minor, op.93

21年目のシーズン開幕

ーヴィチ
10番

管弦楽

兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing
Arts Center Orchestra

2026 9/11(金)・12(土)・13(日) 開演 3:00PM (開場2:15PM) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,000円(全席指定/税込)

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

10:00AM~5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 6/20(土)

一般発売

インターネット予約 ■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp> ■イープラス <https://eplus.jp>
■チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター
[6/23(火)より、残席がある場合のみ]

6/21(日)

※ブレイガイドでのお取り扱いについては各ブレイガイドにお問い合わせください。

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



兵庫県立
芸術文化センター

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第171回定期演奏会

世界屈指のヴィオリストと贈る日本初演作×ショスタコーヴィチ10番

新メンバーを迎え、PAC21年目のシーズンが開幕します。前半は英国出身・世界屈指のヴィオリスト、ローレンス・パワーが登場。フィンランドの作曲家リンドベルイが彼に献呈し、2024年にフィンランド放送響にて初演された「ヴィオラ協奏曲」を、日本初演でお届けします。卓越した技巧と表現力、オーケストラと織りなす豊かな音楽をお楽しみください。

後半は生誕120年を迎えるショスタコーヴィチの「交響曲第10番」。「第9番」の発表から8年後、スターリン死去の直後に作曲され、その強烈な音楽表現が大きな議論を呼んだ約50分の大曲です。佐渡裕芸術監督とPACが生み出す、濃密な響きにご期待ください。

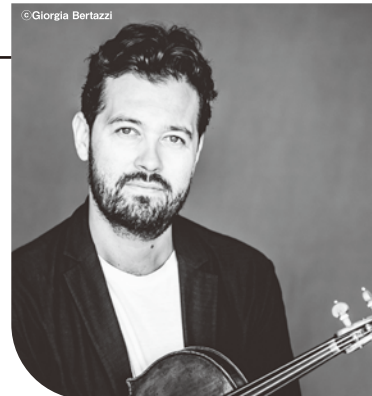
指揮・芸術監督 **佐渡 裕** Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年若手指揮者の登竜門として名高いブザンソン国際指揮者コンクールにて優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクールに優勝し、「レナード・バーンスタイン桂冠指揮者」の称号を授与される。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーン・キュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。エクサン・プロヴァンス音楽祭「椿姫」(演奏：パリ管) オランジュ音楽祭「蝶々夫人」(演奏：スイス・ロマン管)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演の実績も多数。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーン・キュンストラ管弦楽団を指揮した23枚目のCD「マーラー：交響曲第8番」を2026年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫／新書)など。出光音楽賞(1991年)、モンブラン国際文化賞(2003年)、渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2003年)、岩谷時子賞(2014年)、文部科学大臣表彰(2024年)、外務大臣表彰(2025年)などの受賞歴がある。オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



ヴィオラ **ローレンス・パワー** Lawrence Power, Viola

英国出身。世界を代表するヴィオラ奏者の一人で、ソリストおよび室内楽奏者として高い評価を受ける。主要オーケストラと共演し、各地の著名な音楽祭にも出演。現代音楽への情熱から、マグヌス・リンドベルイやカサンドラ・ミラーらの作品初演を通じてレパートリー拡充に貢献してきた。キュレーターやアーティスト・イン・レジデンスとしても招かれ、「プレイ&リード」プロジェクトでは室内オーケストラの指揮も担う。ウェスト・ウィコム室内楽音楽祭の創設者兼芸術監督、映像制作会社「Âme」の設立者。2020年にロイヤル・フィルハーモニック協会よりインストゥルメンタリスト賞受賞。チューリッヒ芸術大学教授。2021年から5年の任期で、ウィグモア・ホールのアソシエイト・アーティストを務める。使用楽器は、カローリーナ・ブラベルク財団より貸与された1590年製アマティ(旧トランブラー)。



兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 <https://hpac-orc.jp>



PAC公式SNS



@HPACorchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

